

科目ナンバリング		P-GOV02 64361 LJ45									
授業科目名 <英訳>		メディアポリティクス Media Politics				担当者所属・ 職名・氏名		読売新聞大阪本社 編集委員 平井 道子 読売新聞奈良支局長 村尾 卓志 読売新聞東京本社 池永 尚嗣 教育ネットワーク 舟槻 格致 読売新聞東京本社調査 研究本部主任研究員			
配当 学年	1・2回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2022・ 後期	曜時限	金5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
<p>「読売新聞寄附講義」 読売新聞の専門記者が講師陣となり、日本を取り巻く諸問題を取り上げ、その背景や解決策を考える。日本の新聞業界の現状や新聞紙面の成り立ちを学び、新聞メディアからの情報収集法を習得する。 その上で個別のニュースや歴史的な出来事を取り上げ、ニュースの背景を分析。問題のとらえ方、解決策を考える。</p>											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞をはじめとするマスコミの役割を理解した上で、国内外の諸問題を分析、考察し、必要な解決策を提案できる能力を育む。 ・物事の真相に迫ることの重要性を学ぶ。 ・新聞を参考に、実業界で役立つ、簡潔でわかりやすい文章で相手に伝える技術を学ぶ。 											
【授業計画と内容】											
<p>2022年度の【授業計画と内容】は、開講前に本欄にて公表します。以下は2021年度のものであります。</p> <p>(1) 「新型コロナと報道」(平井)(計4回) 新型コロナウイルスの問題が起きてから2年近くになる。第4波、第5波の状況や対応をマスコミはどう報道したか。行政の対応は十分だったか。ロックダウンやワクチン接種などいくつかのトピックをもとに、その時々々の報道と行政の対応を検証する。</p> <p>(2) 「変貌する経済システム」(池永)(計3回) デジタルとAIの発達が日本と世界の経済を大きく様変わりさせている。車の自動運転、暗号資産(仮想通貨)、デジタル通貨の今後について様々な側面から考察する。</p> <p>(3) 「地方政治と選挙報道」(村尾)(計3回) 大阪における大都市制度改革を巡る動きや議員のなり手不足など、地方自治が直面する課題を取り上げる。衆院選を題材に、選挙報道の実態についても考察する。</p> <p>(4) 「メディアと政治」(舟槻)(計4回) 政治報道と政策、政局、憲法について、具体的な国会などの動きも踏まえて考察する。</p> <p>(5) フィードバック</p>											
【履修要件】											
特になし											
----- メディアポリティクス(2)へ続く -----											

メディアポリティックス(2)

[成績評価の方法・観点]

各担当講師が出すテーマごとにレポートを提出。その評価と講義への貢献度を加味して全体評価とする。

[教科書]

講義に必要な資料や新聞紙面は、その都度提供する。

[参考書等]

(参考書)

時事問題を取り上げるため、日ごろから新聞(日刊紙)を講読するのが望ましい。

[授業外学修(予習・復習)等]

必要に応じ、担当講師が指示する。
日ごろから広く時事問題に関心を持つことが前提となる。

(その他(オフィスアワー等))

オフィス・アワーについては講義中に指示する。
講義の理解の一助として、新型コロナの感染状況など状況が許せば、希望者を対象に、読売新聞大阪本社(大阪市北区)の新聞社見学を実施する場合がある。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。